

2025年4月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

〔売上高 総計〕

株 高 島 屋 計	※1 Δ4.6
-----------	---------

(前年比 単位:%)

株 高 島 屋 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	Δ6.1
株 高 島 屋 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 既 存 店 計	※2 Δ4.4

〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	Δ14.2	+5.6	E C 店	+4.2	-
堺 店	Δ2.9	Δ1.9	株 高 島 屋 各 店 計	Δ5.1	+2.1
京 都 店	※3 Δ4.6	+2.7	岡 山 高 島 屋	+1.5	+2.5
泉 北 店	Δ5.3	Δ3.4	高 崎 高 島 屋	+0.2	+4.4
日 本 橋 店	+2.1	+3.6	株 高 島 屋 各 店 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	Δ6.6	+0.6
横 浜 店	Δ3.3	+3.0	株 高 島 屋 各 店 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 既 存 店 計	※2 Δ4.8	+2.1
新 宿 店	Δ5.0	+1.2	法 人 事 業	+4.9	
玉 川 店	+2.6	+11.2	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	Δ6.7	
大 宮 店	+5.6	+3.6			
柏 店	※4 +0.1	Δ11.4			

※1. 株高島屋の売上高は、株高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。
※2. 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。
※3. 京都店は「洛西店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。
※4. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	Δ3.5	Δ5.0	食料品	+7.3	+4.3	サービス	Δ1.5	Δ2.0
紳士服・洋品	Δ8.5	Δ10.1	生鮮食品	+0.6	Δ1.6	その他	+13.0	+10.4
婦人服・洋品	Δ2.6	Δ3.9	菓 子	+7.4	+5.2			
子供服・洋品	+3.4	+0.1	惣 菜	+4.2	+2.6	合 計	Δ4.6	Δ6.1
その他衣料品	Δ7.7	Δ9.2	そ の 他	+14.4	+8.4			
身のまわり品	Δ16.1	Δ16.1	食堂・喫茶	+7.5	+4.0			
家庭用品	Δ9.5	Δ11.1	雑貨	Δ3.3	Δ5.1			
家 具	Δ31.0	Δ29.7	化 粧 品	+5.5	+3.4			
家 電	+28.3	+29.3	美術・宝飾品・貴金属	Δ11.9	Δ13.7			
その他家庭用品	Δ9.0	Δ12.6	そ の 他	Δ2.3	Δ4.3			

○百貨店売上高の前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高Δ6.6%(※Δ4.8%)、免税売上高Δ32.5%、免税を除いた店頭売上高Δ0.9%(※+1.4%)となりました。

○国内顧客売上高は、物産展等の食料品催事が堅調に推移したこともあり、既存店対比で前年実績を上回りました。

○免税売上高について、化粧品やスポーツ用品は前年からプラスとなりましたが、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品がマイナスとなった影響が大きく、前年実績を下回り、百貨店売上高全体の前年比を押し下げました。

○法人事業は、受注が堅調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

クロスメディア事業は、通販カタログの計画的な部数、ページ数の削減影響により前年実績を下回ったものの、衣料品などのファッションや食料品が堅調に推移し、想定を上回りました。

○5月の店頭売上高(14日までの累計 ※既存店対比)は、前年比Δ4.3%、免税売上高は、前年比Δ44.4%、免税を除いた店頭売上高は、前年比+5.3%で推移しています。